

[様式第3号]

資料提供年月日	平成28年1月26日	
問い合わせ先	課名	庭園都市推進課
	電話	直通 803-1393 内線 3688
担当者	職名・氏名	課長 亀井 良幸
	職名・氏名	室長 出羽 武志

広 報 連 絡

<市長定例記者会見資料>

- 1 件 名 「第2回及び第3回県庁通り・西川緑道公園筋回遊性向上社会実験」のアンケート結果について
- 2 趣 旨 平成27年10月10日、11日と11月28日、29日にそれぞれ実施した「第2回及び第3回県庁通り・西川緑道公園筋回遊性向上社会実験」でのアンケート調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。
このアンケート調査は、様々な人を対象に、回遊性向上や賑わい創出効果、県庁通り1車線化や西川緑道公園筋歩行者天国化等の評価を目的に行ったものです。
- 3 対 象 者
 - 県庁通り・西川緑道公園筋への来街者
 - 地域住民（出石地区、深柢地区）
 - 沿道事業者
 - 自動車利用者（一般利用者・交通事業者）
 - イベント会場・オープンカフェへの来場者
- 4 結果概要 別添「第2回及び第3回県庁通り・西川緑道公園筋回遊性向上社会実験アンケート調査結果」を参照

第2回及び第3回 県庁通り・西川緑道公園筋回遊性向上社会実験 アンケート調査結果

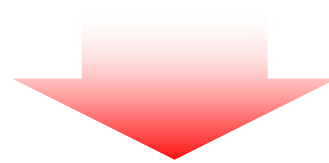
— 目 次 —

1.社会実験に対する感想・評価等	…	3
2.対象エリアの空間づくりに対する意見	…	10
3.調査結果のまとめ	…	13

都市整備局庭園都市推進課
街なかにぎわい推進室

社会実験の目的

県庁通り・西川緑道公園筋の空間を有効に活用し、
街なかの賑わいを創出し、回遊を促す



平成27年度社会実験の総括

- 人を中心とした空間を提供できたことで、歩行者が増加し、全体として街なかの回遊性が向上した
- 市民や来訪者など多くの方々に実際にまち歩きを楽しんでいただくことができた

アンケートの対象別と回答状況



	対象者		主な内容	第1回 平成27年 5月3日(日) 5月4日(月・祝)	第2回 平成27年 10月10日(土) 10月11日(日)	第3回 平成27年 11月28日(土) 11月29日(日)
1	県庁通り・ 西川緑道公園 筋への来街者	歩行者	・属性、目的、行き先 ・通行した感想 ・道路空間（県庁通りや西川緑道公園筋） に対する意見	481人	400人	513人
		自転車	・属性、目的、行き先 ・通行した感想 ・道路空間（県庁通りや西川緑道公園筋） に対する意見		228人	294人
2	イオン・表町への来街者		・来街者の属性 ・西川緑道公園筋歩行者天国化に対する意見	305人	—	—
3	地域住民 (出石地区・深柢地区)		・属性 ・社会実験への参加状況、評価 ・道路空間（県庁通りや西川緑道公園筋） に対する意見	445人	583人	537人
4	沿道事業者		・社会実験による変化（人通り・来客・売上） ・道路空間（県庁通りや西川緑道公園筋） に対する意見	79人	76人	101人
5	自動車利用者	一般利用者	・自転車の車道通行に対する意見 ・道路空間（県庁通りや西川緑道公園筋） に対する意見	—	349人	321人
		交通事業者	・自転車の車道通行に対する意見 ・道路空間（県庁通りや西川緑道公園筋） に対する意見	147人	157人	154人
6	イベント会場・オープンカフェへの 来場者		・イベント、オープンカフェの評価 ・イベント、オープンカフェに対する意見	274人	540人	424人
合計				1,731人	2,333人	2,344人

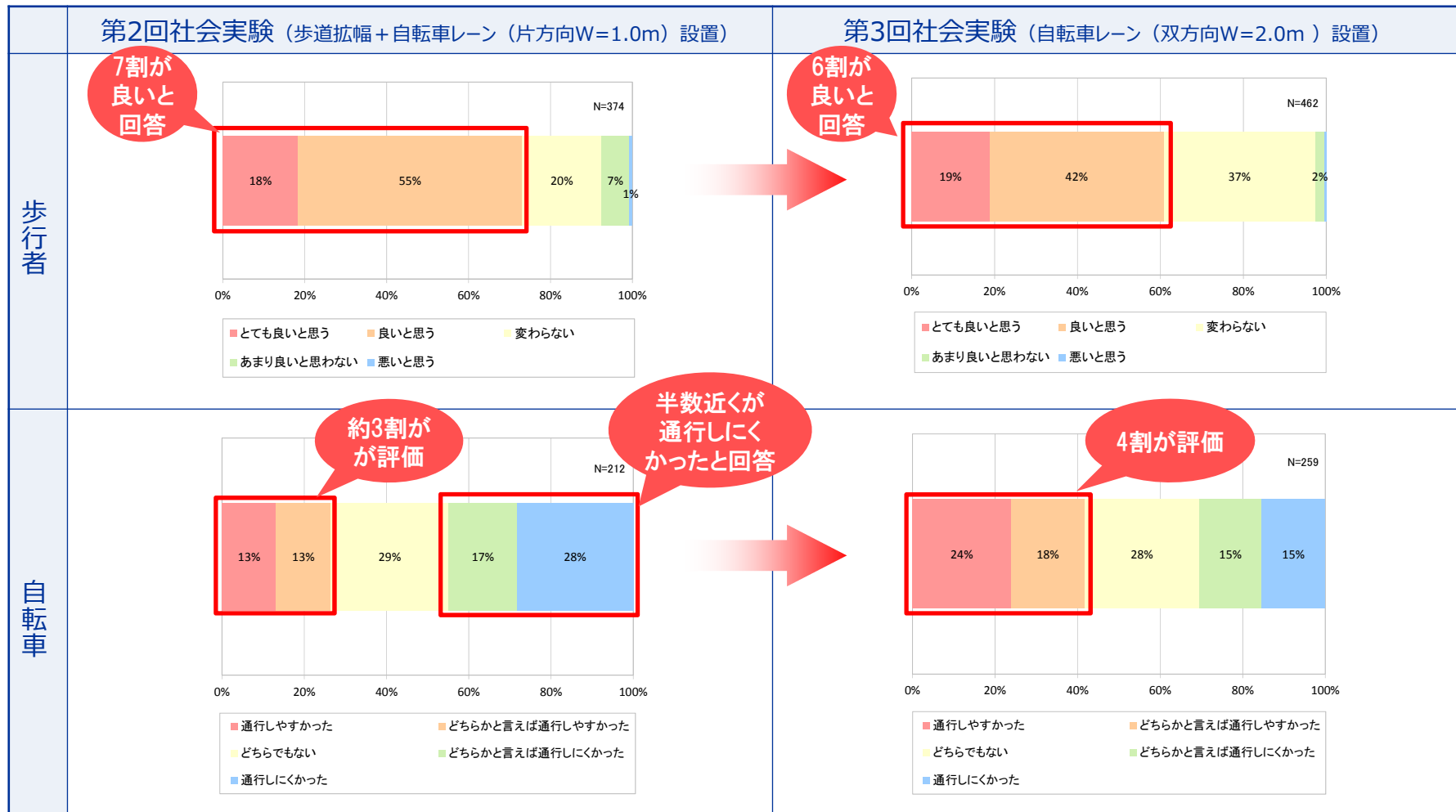
1. 社会実験に対する感想・評価等



(1) 来街者の感想

- 歩行者は、歩道の拡幅を行った第2回社会実験では7割が普段と比べて良いと回答。歩道の幅員が普段と変わっていない第3回でも歩行者の6割が良いと回答。
- 自転車利用者は第2回では約半数が通行しにくかったと回答したが、第3回では4割が通行しやすかったと回答。

▼県庁通りを通行した感想



1. 社会実験に対する感想・評価等

(1) 来街者の感想

- ・歩行者が良いと感じた理由として第2回では「歩道内に自転車が多く安心感があった」が2割だったが、第3回では約3割に増加。これが第3回でも歩行者評価が高かった要因と考えられる。
- ・一方、自転車利用者は、通行しやすかった理由として「車道に自転車の通れる空間が整備された」の割合が増加、通行しにくかった理由として「自転車が通れる空間が狭い」の割合が減少しており、走行空間の広がりや狭さが評価されている。

▼県庁通りを通行して良いと感じた理由



約3割が
が歩道内の
自転車の少
なさを評価

約4割が自転車
走行空間の確
保を評価

▼県庁通りを通行して良くないと感じた理由



走行空間の狭さ
に対する不満が
減少

※母数は歩行者・自転車利用者の第2・3回社会実験時における感想（前ページ）の全回答者

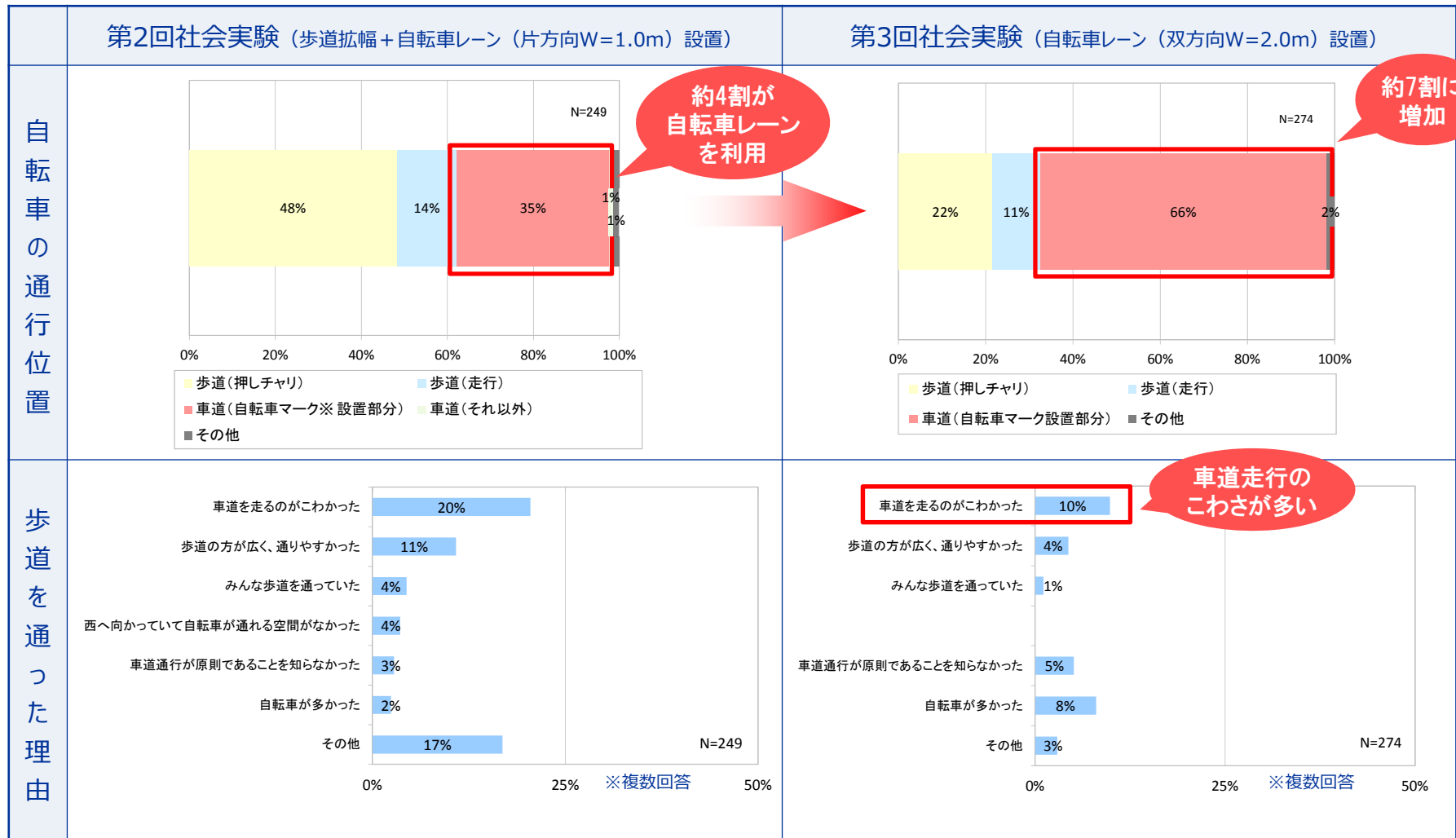
1. 社会実験に対する感想・評価等



(2) 自転車の通行位置

- ・自転車マーク設置部分を走行した自転車利用者は、第2回では約4割にとどまったが、第3回では約7割に増加。
- ・歩道を通った理由を見ると、依然として「車道を走るのがこわかった」等の意見が挙げられている。

▼自転車の通行位置



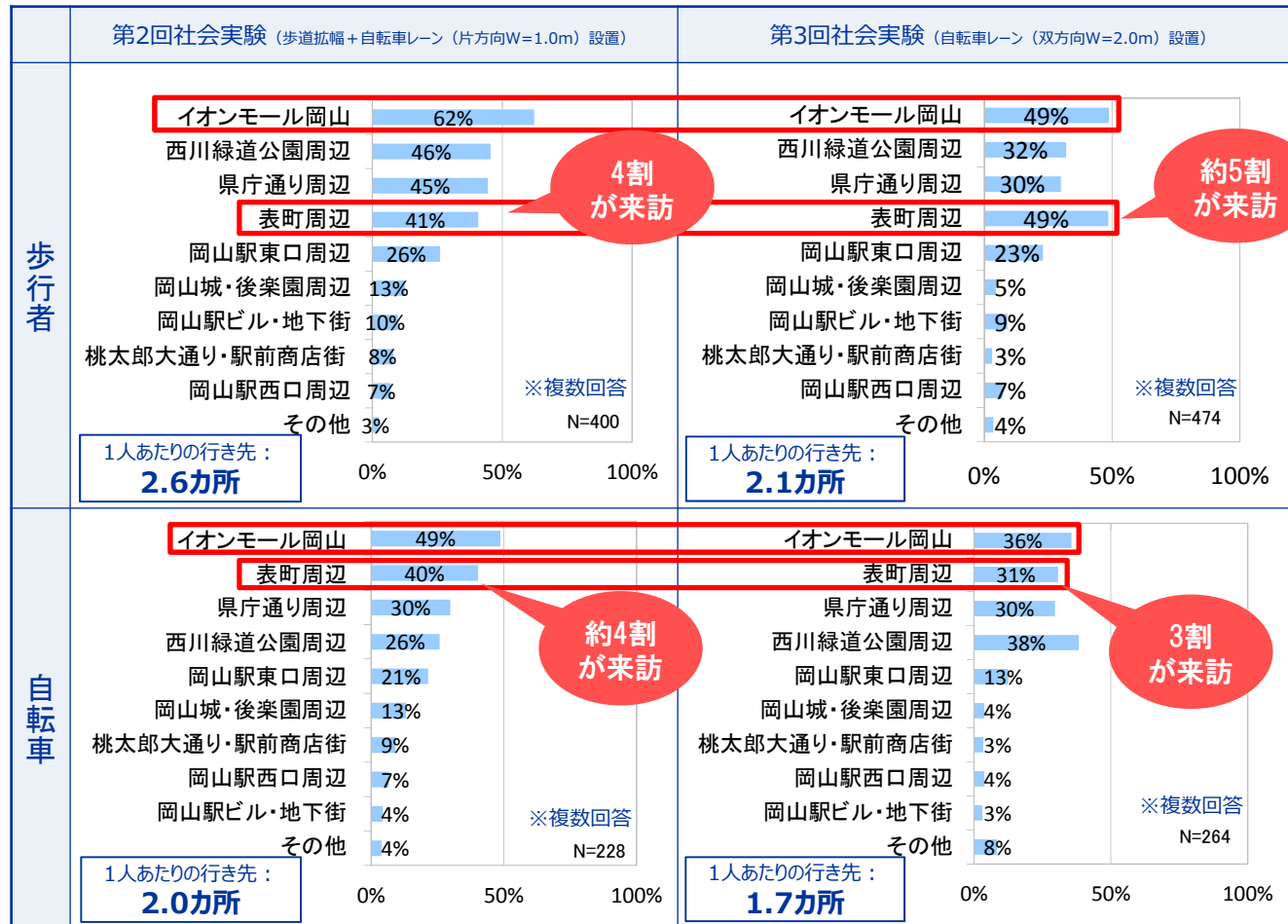
1. 社会実験に対する感想・評価等



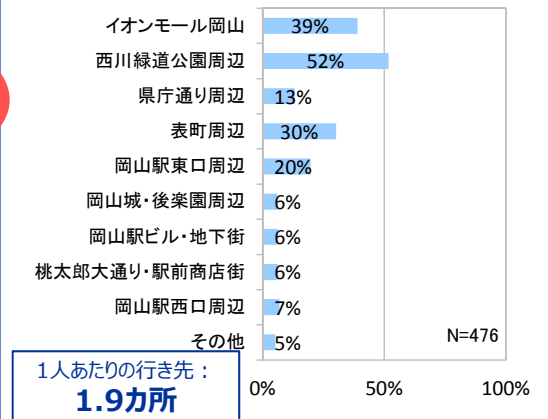
(3) 来街者の行き先

- ・歩行者の当日の行き先として表町を挙げる割合が増加している。
- ・第2回、第3回ともにイオンモール岡山を行き先とする来街者が多い。
- ・歩行者1人あたりの平均行き先数は第2回が2.6カ所、第3回が2.1カ所であり、第1回に比べ増加している。

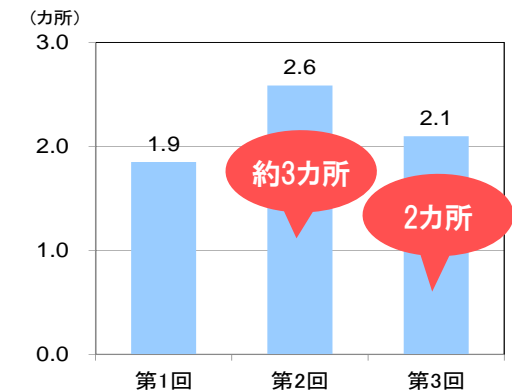
▼来街者の行き先



(参考) 第1回調査結果



▼歩行者1人あたりの行き先数 (平均)

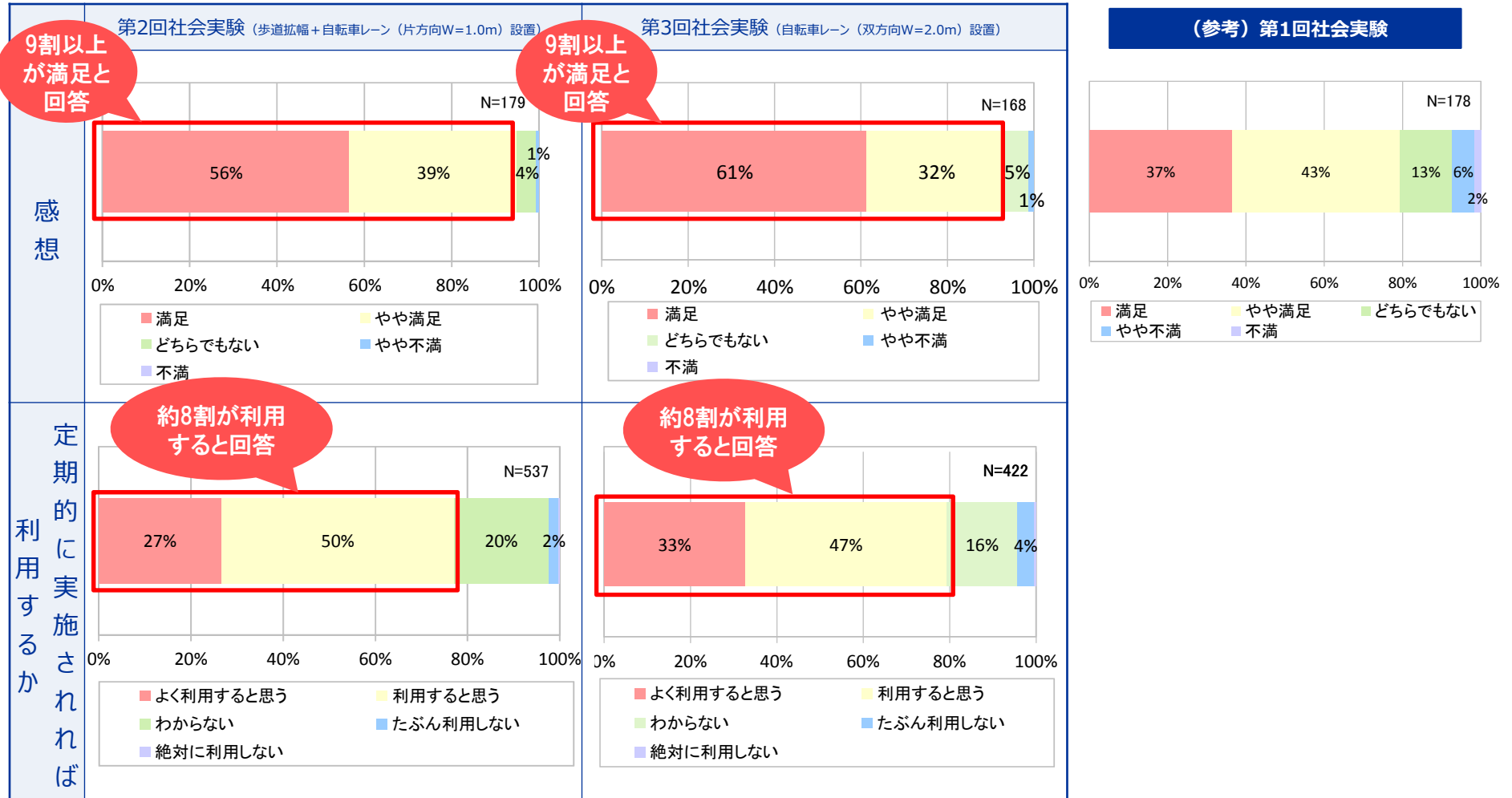


1. 社会実験に対する感想・評価等

(4) 西川緑道公園筋のオープンカフェについて

- ・第2回、第3回とも、9割以上がオープンカフェに満足と回答しており、高い評価を得ている。
- ・また、定期的に実施された場合の利用に対し、第2回、第3回ともに約8割が利用すると回答しており、オープンカフェの人気は高い。

▼オープンカフェについて

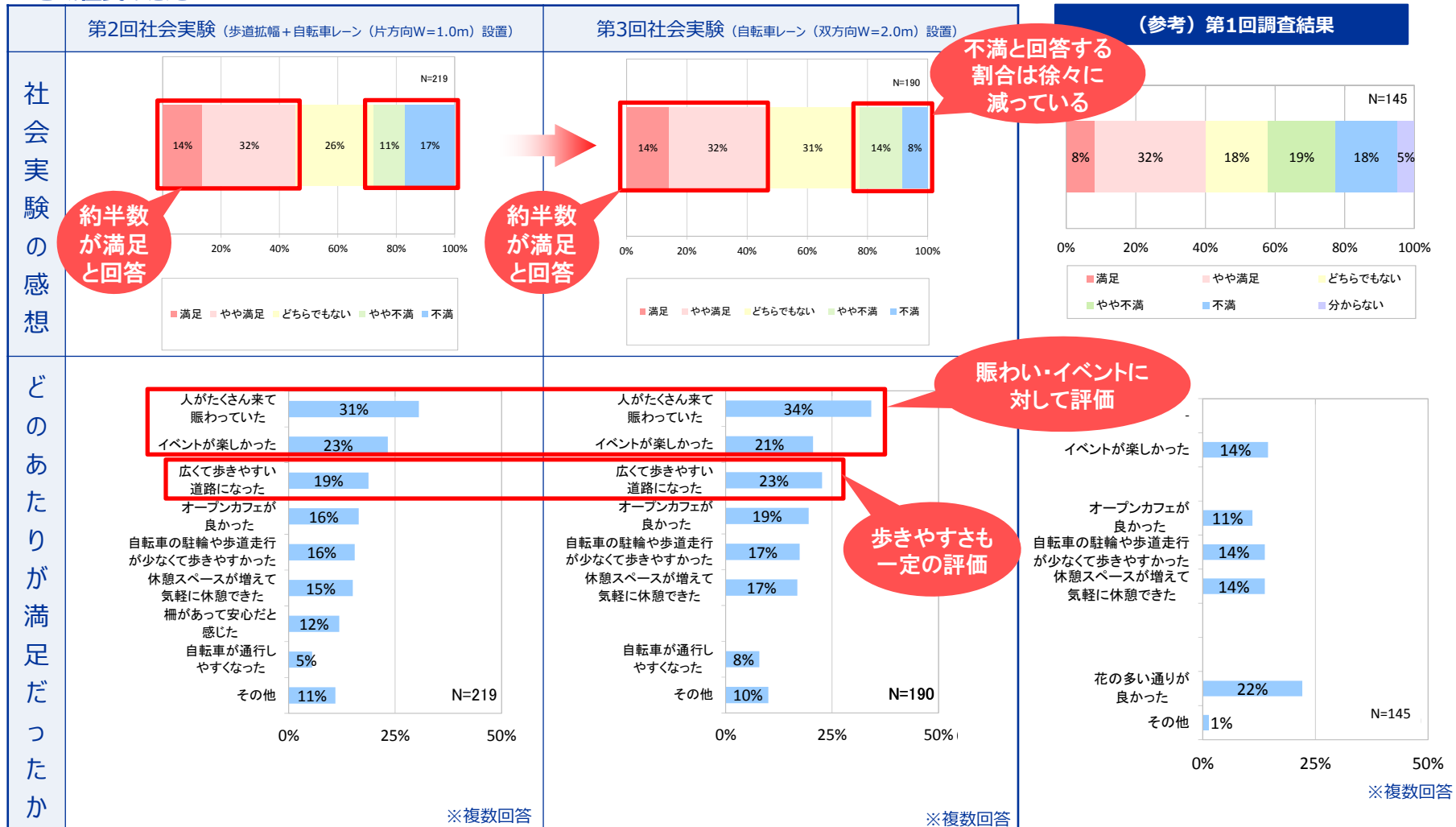


1. 社会実験に対する感想・評価等

(5) 地域住民の感想

- ・社会実験に参加したと回答した方のうち、約半数が社会実験について「満足」と回答しており、不満と回答する割合が徐々に減少。
- ・良かった点としては「賑わい」や「イベント」が多いが、「歩きやすさ」も一定の評価がされている。

▼地域住民の感想

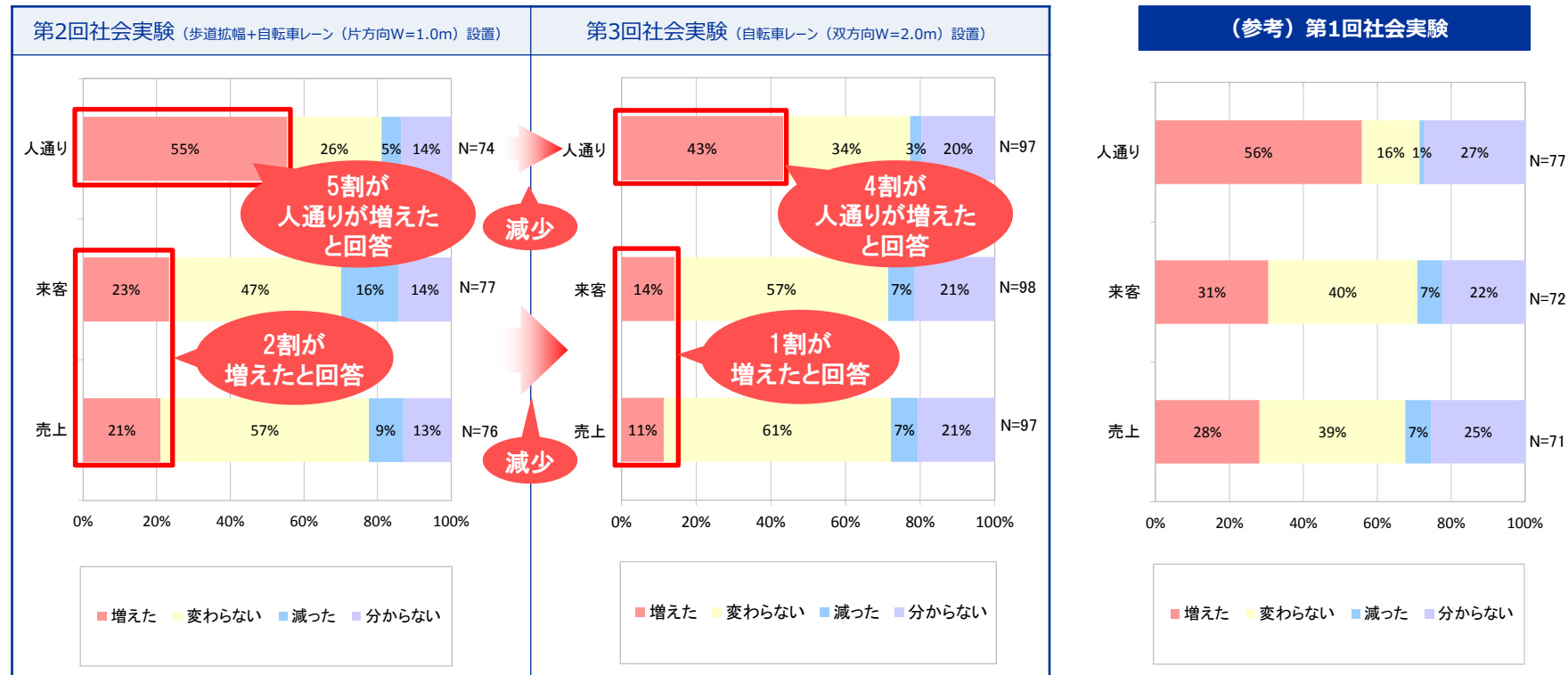


1. 社会実験に対する感想・評価等

(6) 沿道事業者の感想

- ・第2回では5割が「人通りが増え」、2割が「来客が増えた」「売上が増えた」と回答。第3回では4割が「人通りが増え」、1割が「来客が増えた」「売上が増えた」と回答。
- ・いずれも徐々に減っているが、イベントの内容や開催時期の違いや、社会実験の形態の違いが影響していると推察される。

▼人通り・来客・売上の変化



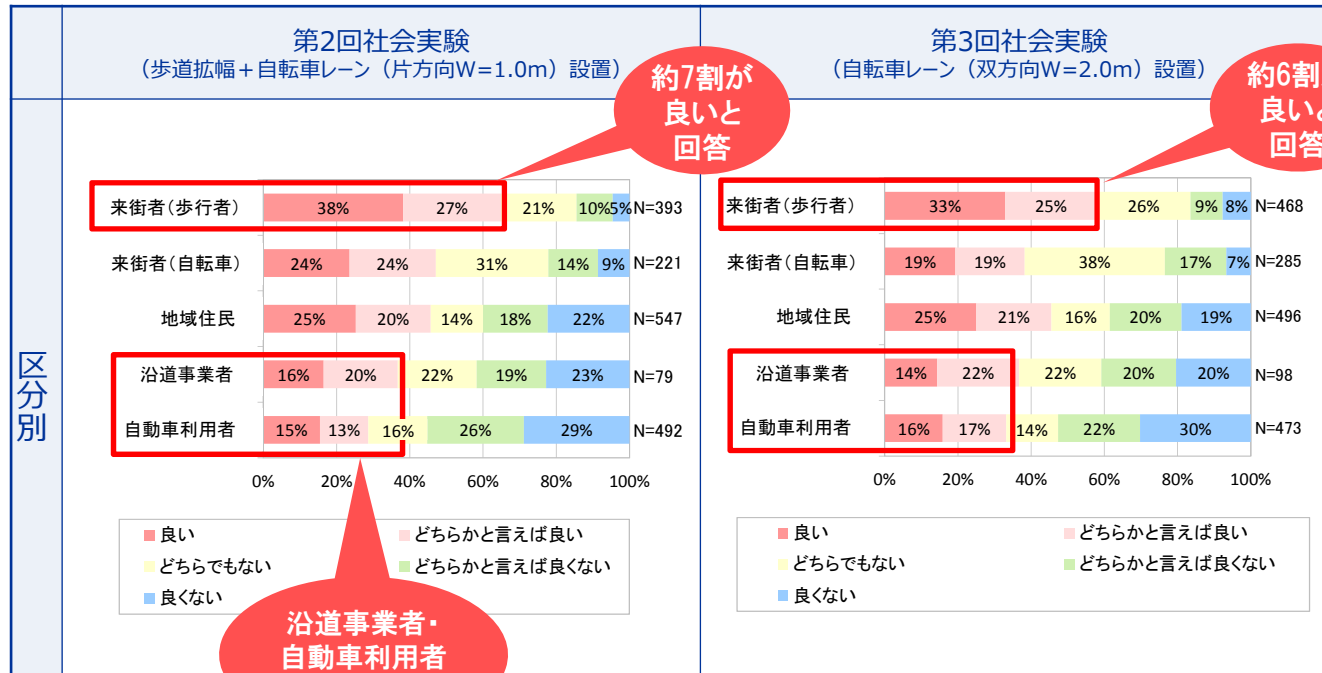
2.対象エリアの空間づくりに対する意見



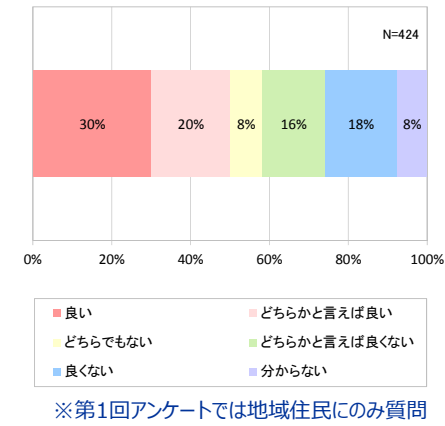
(1) 県庁通り1車線化について

- ・歩行者からの評価が高く、第2回では約7割、第3回では約6割が良いと回答。
- ・沿道事業者・自動車利用者は良いと回答した割合が低く、自動車利用者だけでなく沿道事業者も歩行者ほどメリットを感じていないと考えられる。

▼県庁通り1車線化について



(参考) 第1回社会実験



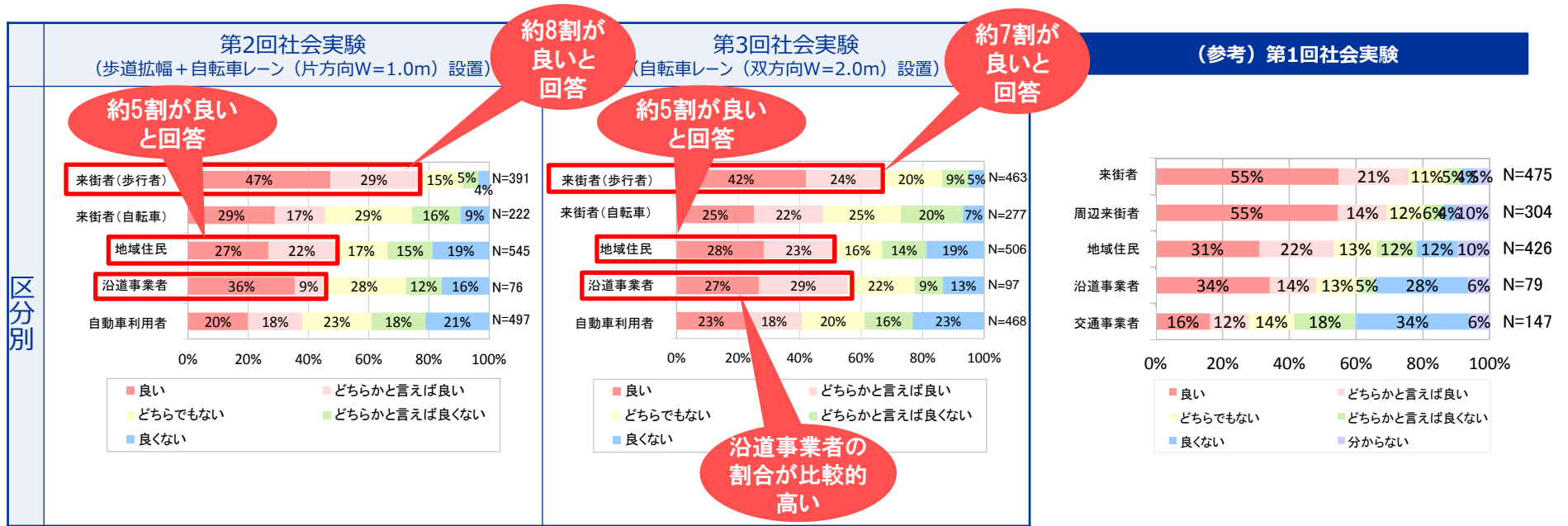
2.対象エリアの空間づくりに対する意見



(2) 西川緑道公園筋の歩行者天国化について

- ・歩行者からの評価が高く、第2回では約8割、第3回では約7割が良いと回答。
- ・地域住民についても、第2回・第3回ともアンケート回答者の約5割が良いと回答。
- ・また、沿道事業者は第2回では約5割、第3回では約6割が良いと回答しており、沿道事業者からも一定の理解が得られている。

▼西川緑道公園筋の歩行者天国化について



2.対象エリアの空間づくりに対する意見

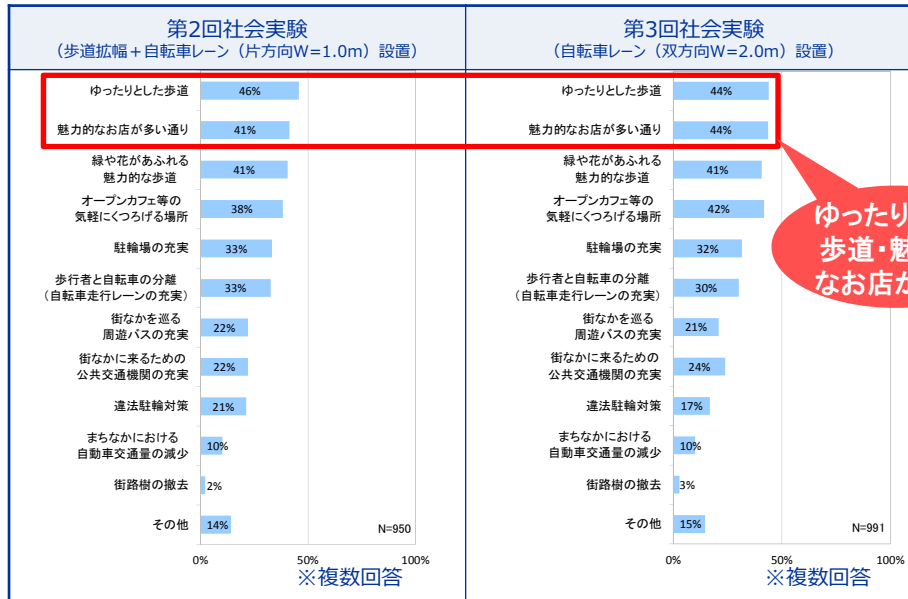


(3) 街なかを巡りやすくするために必要なもの

- ・第2回、第3回とも歩行者・地域住民は「ゆったりとした歩道」、「魅力的なお店が多い通り」が多く挙げられている。
- ・自転車利用者は、第2回の際は「停めやすい駐輪場」を最も多く挙げており、創り出された空間を有効に活用することを求めている。
- ・一方、第3回では、加えて「自転車専用空間の増加」、「魅力的なお店」が多く挙げられており、第3回実験においてレーンの設置が肯定的にとらえられたものの、目的となる店舗等の充実も重要と感じられたことが伺える。

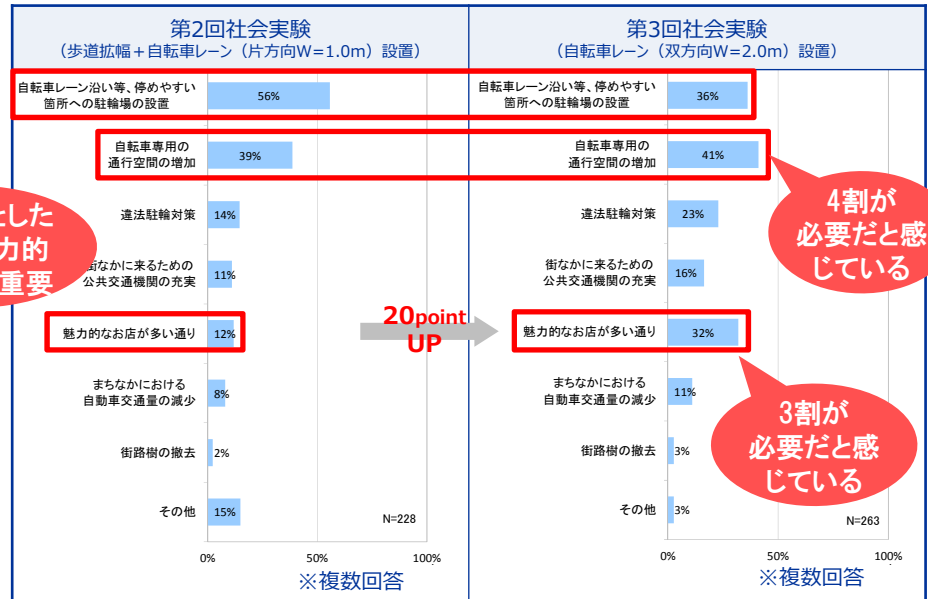
▼街なかを巡りやすくするために必要なもの

<歩行者・地域住民>



ゆったりとした歩道・魅力的なお店が重要

<自転車利用者>



4割が必要だと感じている

3割が必要だと感じている

20point UP

3. 調査結果のまとめ

(1) 結果のまとめ

第2回・第3回社会実験の実施結果

- 第2回・第3回とも歩道内の安心感が向上し、それぞれ7割、6割の歩行者が感想として良いと回答。
- 自転車の車道走行が第2回で約4割、第3回で約7割となり、良いと評価した割合が増加。一方、「車道を走るのがこわかった」等の課題も挙げられている。
- オープンカフェは第2回・第3回とも9割以上が満足と回答。
- 地域住民は良かった点として「賑わい」や「イベント」が最も多く挙げているが、「歩きやすさ」も評価している。
- 沿道事業者は、第2回では5割、第3回では4割が人通りが増えたと回答。

対象エリアの空間のあり方についての意見

<県庁通りの1車線化>

- 沿道事業者や自動車利用者は賛成割合が低く、歩行者ほどメリットを感じていないと考えられる。

<西川緑道公園筋の歩行者天国化について>

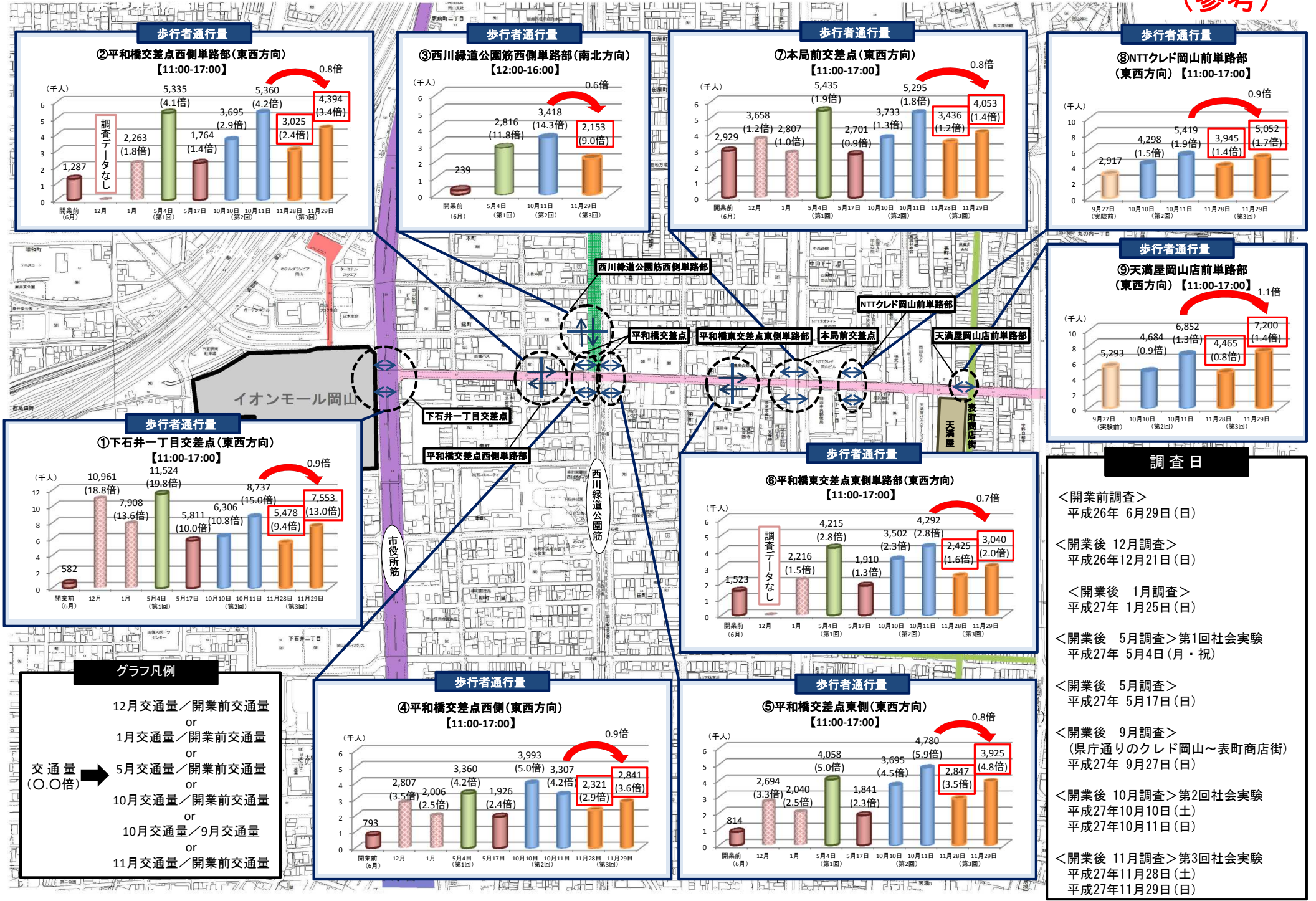
- 沿道事業者からの一定の理解が得られている。

<まちなかを巡りやすくするために必要なもの>

- 歩行者・地域住民からは「ゆったりとした歩道」・「魅力的なお店」等が、自転車利用者からは「止めやすい駐輪場の設置」「自転車専用空間の増加」に加えて、「魅力的なお店」が多く挙げられた
- より安全・便利な空間活用に加え、出かける目的ともなる魅力づくりが重要と考えられている。

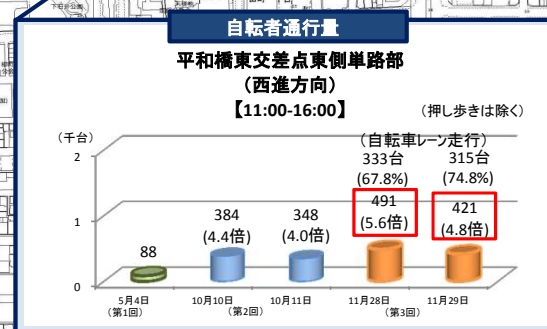
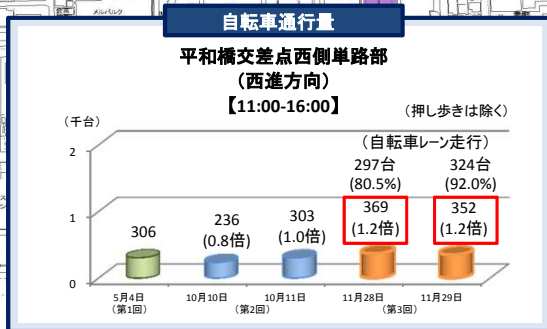
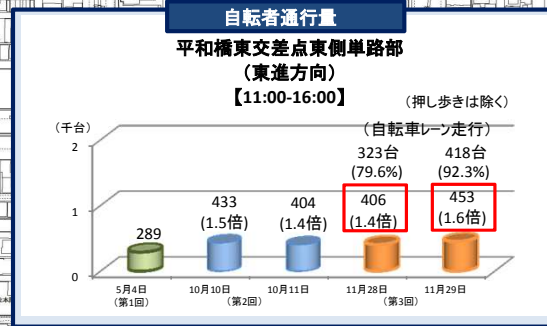
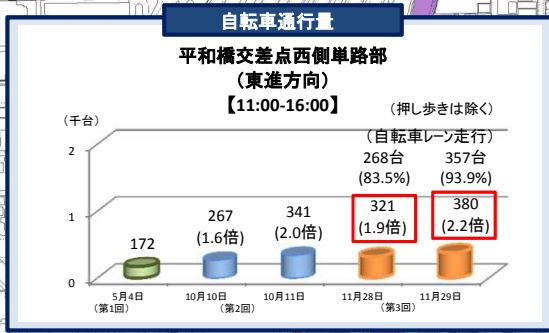
回遊性向上社会実験交通量調査結果(歩行者通行量)11月28日(土), 29日(日)

(参考)



回遊性向上社会実験交通量調査結果(自転車通行量)11月28日(土), 29日(日)

(参考)



グラフ凡例

通行量 (〇.〇倍) → 10月通行量 / 5月通行量 or 11月通行量 / 5月通行量

調査日

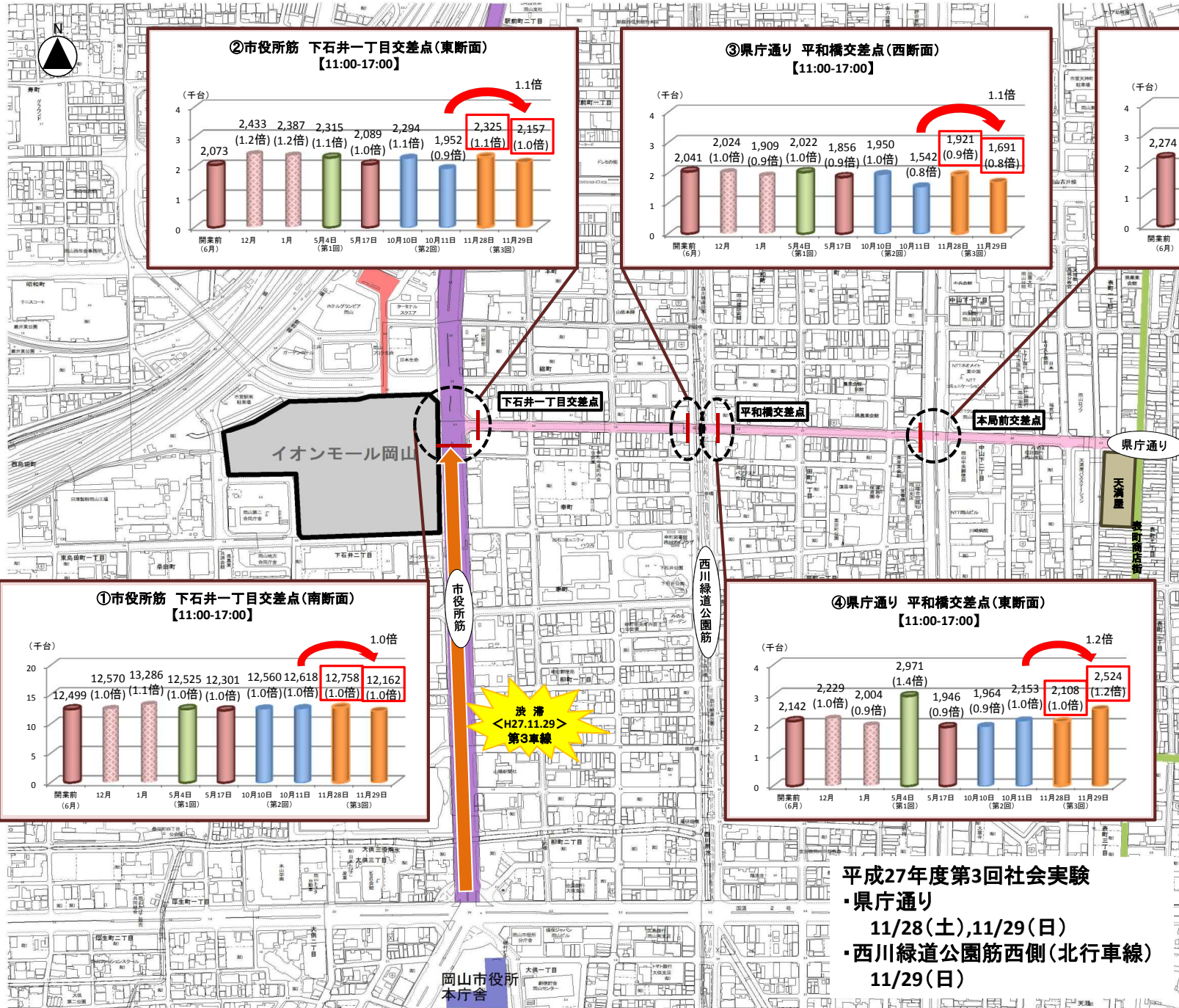
<5月調査> 第1回社会実験 (車線規制なし)
平成27年 5月4日 (月・祝)
自転車への案内: 東進 (路側帯走行・歩道内押し歩き)
: 西進 (迂回・歩道内押し歩き)

<10月調査> 第2回社会実験 (1車線規制)
平成27年10月10日 (土)
平成27年10月11日 (日)
自転車への案内: 東進 (自転車レーン走行 幅1.0m 歩道内押し歩き)
: 西進 (迂回・歩道内押し歩き)

<11月調査> 第3回社会実験 (1車線規制)
平成27年11月28日 (土)
平成27年11月29日 (日)
自転車への案内: 東進 (自転車レーン走行 幅2.0m 歩道内押し歩き)
: 西進 (自転車レーン走行 幅2.0m 歩道内押し歩き)

回遊性向上社会実験交通量調査結果(自動車交通量)11月28日(土),29日(日)

(参考)



渋滞
<H27.11.29>
第3車線

グラフ凡例

12月交通量/開業前交通量
or
1月交通量/開業前交通量
or
5月交通量/開業前交通量
or
10月交通量/開業前交通量
or
11月交通量/開業前交通量

交通量 (〇.〇倍)

調査日

<開業前調査>
平成26年 6月29日(日)

<開業後 12月調査>
平成26年12月21日(日)

<開業後 1月調査>
平成27年 1月25日(日)

<開業後 5月調査>第1回社会実験
平成27年 5月 4日(月・祝)

<開業後 5月調査>
平成27年 5月17日(日)

<開業後 10月調査>第2回社会実験
平成27年10月10日(土)
平成27年10月11日(日)

<開業後 11月調査>第3回社会実験
平成27年11月28日(土)
平成27年11月29日(日)

平成27年度第3回社会実験
・県庁通り
11/28(土),11/29(日)
・西川緑道公園筋西側(北行車線)
11/29(日)